

## 兵庫県新温泉町におけるヒメシロシタバの記録

宇野宏樹

ヒメシロシタバ *Catocala napioides* は、北海道、本州、四国、九州、対馬に分布し、カシワを食樹とすることが知られている（岸田ほか，2011）。本種の西日本での分布は局地的であり、兵庫県における本種の産地は、美方郡香美町村岡区大笹ハチ北高原・宍粟市波賀町引原の2カ所しか知られていなかった（阪上ほか，2017）。筆者は記録が無いと思われる新温泉町で本種を採集したので報告したい。



図 ヒメシロシタバ（兵庫県美方郡新温泉町産）。

1ex. (図)，兵庫県美方郡新温泉町芦屋 城山園地。10. VII. 2021. 筆者採集保管。

ライトトラップに飛来した個体を採集した。付近の環境は、日本海を見下ろせる海辺の高台であった。末筆ながら、報告を勧めてくださった八木剛氏および採集に同行してくださった安岡拓郎氏に厚くお礼申し上げる。

### ○参考文献

岸田泰則・柳田慶浩・清野昭夫・石塚勝己，2011. シタバガ亜科. 岸田康則（編），日本産蛾類標準図鑑 2: 244-264. 学研教育出版，東京。

阪上洗多・徳平拓朗・松尾隆人，2017. 兵庫県カトカラ図鑑. きべりはむし，39 (2): 25-36.

(Hiroki UNO 兵庫県西宮市)

## 但馬高原植物園に於けるクジャクチョウの記録

広畑政巳・糸数幸高

白水（2006）によると本種の現在知られている確実な分布の西南限は岐阜・滋賀両県境の伊吹山となっている。また，三重県下では発見の事例が多く，過去に島根県，長崎県，鹿児島県などで数例の記録があることが記されている。兵庫県では神戸市岡本付近で2頭採集したという古い記録があるがそれ以降は本種の報告はない。

筆者の一人糸数は2021年9月9日に兵庫県美方郡香美町村岡区和池の但馬高原植物園にてオタカラコウの花に吸蜜に来た本種を撮影している。同じ個体かどうかは不明であるが，前々日の9月7日にも本種が同園で確認されているようである。

分布西限の生息地から飛来したのか，何らかの事情によって運ばれてきたものかは定かではないが明らかに本種であり，県下においては珍しい記録なので報告した。

### ○参考文献

広畑政巳・近藤伸一，2007. 兵庫県の蝶. 331pp.

白水 隆，2006. 日本産蝶類標準図鑑. 学習研究社，東京. 336pp.

(Masami HIROHATA 兵庫昆虫同好会)

(Yukitaka ITOKAZU 兵庫県加古川市)

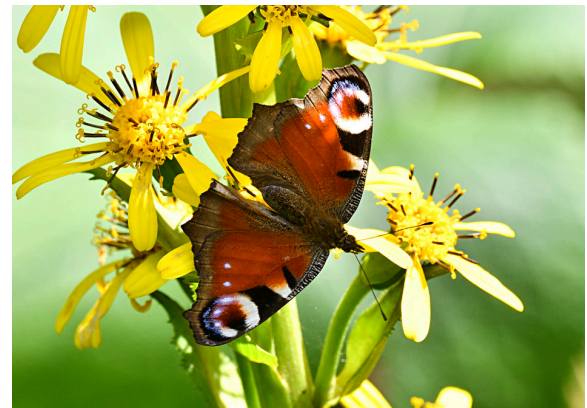


図 オタカラコウに吸蜜に来たクジャクチョウ：糸数幸高撮影。

## 三木市と明石市でマツヘリカメムシを確認

柴田 剛

マツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* Heidemann, 1910 (カメムシ目：ヘリカメムシ科) は，北米大陸西部原産の外来のカメムシで2008年に東京都で外来種として発見された。現在は21都府県での確認記録（岩手県，秋田県，宮城県，山形県，福島県，新潟県，茨城県，栃